



のぞみワークショップ便り

社会福祉法人のゆり会 のぞみワークショップ

292-0201 千葉県木更津市真里谷 2422

Tel 0438-53-7697 Fax 0438-53-7698

mailto: workshop@nozomi-village.com

http://nozomi-village.com/workshop



のぞみワークショップは社会福祉法人のゆり会による障がい者の生活支援および就労支援施設として、平成26年5月に開設しました。自然の豊かな馬来田に建てられたこの施設での生活・作業を生活の土台としつつ、地域社会と連携し障がいを持つ人と地域の人が交わりながら、仕事や生活をする場を提供します。

周辺にはのゆり会の施設である、のぞみ牧場学園とのぞみサポートセンター木更津があり、園児や学童とのふれあいや、専任の療法士らによる作業療法、音楽療法や動物療法の実践などを通じて活発に交流し、充実した日々を送っています。

発行にあたり

のぞみワークショップは、今年5月にオープンしたできたてホヤホヤの「障害者就労支援施設」です。「就労継続支援B型」（10名）と「生活介護」（20名）を行っています。

千葉の房総地区には、障害者の就労支援施設が、人口に比較して多く存在しています。そしてそれぞれの施設では、独自の考え方や方法を練り上げ、運営しています。

「のぞみワークショップ」の**特色のひとつ目は**、自然環境のよい広々とした緑の多い立地条件があります。ここへ通ってくる人たちは、毎日森林浴が充分できますし、また健康のためにゆっくりと近隣を散歩できます。

特色の2つ目は、積極的にセラピーを行います。頻度や内容は、目指しているところからするとまだまだ遠いのですが、音楽療法、作業療法、サッカー療法などそれぞれに専門家を招いて全員が楽しく参加しながら、セラピストと一緒に学んでいます。これまでまだ数カ月ですが、もうすでに参加者各人にセラピー効果が表れています。今後この効果がさらに期待でき、大変楽しみです。

そして**特徴の3つ目は**、まだ発展途中ですが、こちらで独自にブレンドした健康に大変効用の高いハーブティーを作成・販売しています。ここでしか作れない味と香り、そしてその爽やかさを是非体験して頂きたいです。

まだ駆け出しの施設ですが、この自然環境や活動の内容を見学に来て頂けましたら幸いです。これからも色々と新しいことを行っていくつもりです。スタッフ一同お待ちしております。

社会福祉法人のゆり会 理事長 津田 望



生活介護事業所の様子

生活介護では、ハーブティーの袋詰め作業の他に、午前中の散歩を日課にしています。自然を感じながら身体を動かすと共に、散歩先の“のぞみ牧場学園”の動物達と触れあっています。また“のぞみサポートセンター”のお子様達と合同で活動することもあります。ワークショップという限られた社会の中だけで過ごすのではなく、幅広い人間関係や外の社会との繋がりも大切に、毎日楽しく充実したものとなるように過ごしています。 (庭野)



就労支援B型事業所の様子

就労Bは主に近隣の関係施設から仕事の外注を受け、出向いて作業をしています。その内容は草刈り、厩舎内清掃、小動物とケージの手入れ、水撒きといった日常的な作業からパソコン点検、網戸の張替えなど多岐にわたります。支援員としては仕事を覚えてもらうだけでなく、地域社会での自立した生活を目指し、その作業に誇りを持ってもらえるよう用具の扱いや礼儀作法などの指導に気を配っています。(斎藤)



のぞみワークショップで大切にしていること

今年5月、新緑の山々に囲まれ、鶯が気持ちよくさえずるのどかな真里谷の地に、津田望理事長念願の障害福祉サービス事業所が開所しました。開所当初は利用者5名でのスタートでしたが現在、16名の仲間が増えました。障がい状況の違いや、年齢が17歳から56歳という幅が広く、また、今まで様々な経験をされてきた利用者様たちですが、「何々ができない」という事に視点を置くのではなく「どのような支援があればどのような生活ができるのか」、皆さんの支援上に焦点をあて、利用者様との思いを共有して、障がいを持っていても豊かな生活にしていきたいと思っています。

そのためには、津田理事長が大切にされているセラピー、自然や地域の人と交わりながらの生活を大切に活動の提供の基盤づくりをしっかりと行っていきたく思います。開所して半年目を迎えやっと安定した日課やハーブティーの作業に落ち着きを見せ、利用者様も自主的に活動され、毎日すばらしい笑顔を見せています。これから利用される方、保護者の皆様の期待も大きく、ますます充実させていきたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

のぞみワークショップ 施設長 相馬 渉子

～ のぞみワークショップ

サッカー ～ボール一つで繋がる心～

私は満山浩之です。2012年まで、ブラジルやエストニアでプロとしてサッカー選手をしていました。その後は、介護士として高齢者対象の施設で仕事をしています。

私が初めてののぞみワークショップへ来た時、どんな方々がいらっしゃるか本当に楽しみでした。皆さんは、純粋で素直の心の持ち主なので、私の伝えたいことをすべて吸収してくれるので、とても嬉しいです。

私が伝えたいことはただ一つです。私を通して、サッカーの楽しさ、面白さを感じて頂けたらという事です。言葉が全く通じないブラジルやエストニアでも、ボールが一つあれば、気持ちが変わり合えて、そしてすぐにでも仲良くなってしまおうという、不思議な力を持っています。

ボールの蹴り方、そしてゴールをする喜び、仲間とボールを蹴るというチームワークの心、サッカーという一つのスポーツですが、このサッカーを通して、人は成長も出来るのです。

一人でも多くの方が、サッカーの楽しさを感じて欲しいと願っています。

元サッカー選手 満山浩之



Therapy



作業療法

作業療法では、楽しく身体を動かすことをモットーに様々な運動に取り組んでいます。毎回恒例となった棒体操に始まり、障害物競走や風船バレーなど身体を思う存分動かすプログラムを行っています。少し難しい課題にも負けじと取り組む姿やプログラムを終えて達成感を味わう皆さんの姿に、毎回元気を頂いています。身体を動かす機会を通して、リフレッシュしたり、交流の輪を広げる一助となれば幸いです。

作業療法士 御園生さおり

活動風景 ～

園外活動

毎週行われるレクリエーションでは、創作や調理・園外活動を行っています。8月18日には、木更津市ロータリークラブのご招待で、ブルーベリー狩りに行ってきました。場所は、施設からほど近い場所にあるエザワフルーツランドです。山を切り開いて作られたというこの場所



はハイキングができるほど広く、利用者一同ゆったりとした時間を味わえました。ご招待いただき、ありがとうございます。

(斎藤)

Recreation



創作活動

10月の創作活動では、プラ板でアクセサリを作りました。個性あふれる作品が出来ました。(斎藤)

●●● 保護者会から ●●●

私たち利用者の家族は、のぞみワークショップ開所と同時に保護者の会として「ビレッジの会」の活動を始めました。活動の中心は、のぞみワークショップのサポートです。

8月には同じ法人施設の、のぞみ牧場学園で毎年開催されているイベント「ハワイアンナイト」に手作り品を出店しました。初めての大きな行事でしたが、会員同志の親睦も深まり、地域の方々にのぞみワークショップを知って頂く良い機会となりました。

今後は「のぞみビレッジ」が掲げるコンセプトの実現に向けて、お手伝いしていきたいと思っています。

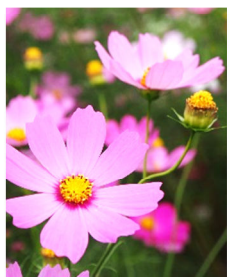
「ビレッジの会」を、今後ともよろしくお願い申し上げます。

『ビレッジの会』会長 藤城京子

あとがき

難産だった「のぞみワークショップ便り」を、ようやく皆様のお手元に届けることができました。この秋にはのぞみ牧場学園の運動会や地域の行事に参加するなど、イベントが盛り沢山です。

そうした忙しい中で、ワークショップに戻りオリジナルのハーブティーを飲むと、我が家に帰ったかのようにほっとできるのも、のぞみワークショップの良さであるように思います。ぜひ一度、遊びに来てください。(斎藤)



音楽療法

皆さんと出会ってまだ日は浅いのに、終わった後にたくさんのリクエストを頂いたり、笑顔やふとした涙など、皆さんの素顔に触れることができ、まるで昔からの知り合いだったような、そんな気持ちを抱いています。ここでの音楽療法では、音楽を通して皆さんがより豊かに時を過ごして頂く事がとても大切だと感じています。一人一人の心の奥深くに音楽が届けられるよう精いっぱい頑張ります！

音楽療法士 藤原舞子

